



七中生徒会集会より ～感動！修学旅行の報告

6月20日(金)第七中学校の生徒会集会が行われました。全校生徒が体育館に集結し、生徒会執行部および各学年・各専門委員会の代表から、これまでの取り組み等の中間発表がありました。

執行部からは5月の児童会生徒会交流会で、「庄内よつば学園のスローガン」を6案考えたので、それについてのアンケート調査の依頼がありました。今回の集会では、3年の学年委員による「修学旅行の報告」がありましたが、その内容に引き込まれました。2年生から平和学習を積み重ね、修学旅行の準備を重ねてきたこと、その学習してきたことが実際の現地で「平和祈念資料館」や「系数アブチラガマ」等を見学する中で改めて戦争の悲惨さや平和の尊さを実感してきたことなどを丁寧に報告していました。特に、修学旅行当日行われた「平和セレモニー」のようすをビデオで紹介されましたが、一人ひとりしっかりと思いを含めて「平和宣言文」を語る姿は感動するものがありました。そして「63期生109名、誰一人欠席もなく全員参加できました」との報告も素晴らしいと感じました。



庄内よつば学園における標準服の着用イメージは

先生からは、庄内よつば学園の服装についての報告がありました。第1ステージは自由服。第2ステージは自由服または標準服。第3ステージは標準服を基本とする。標準服は、着用することが望ましいとされる服装で、基準の服装(オリジナル標準服)をつくったが、それに準じた服装でもよいということです。今の中学1・2年生は、次年度第3ステージである8・9年生となり「標準服を基本とする」とあるが、開校年度から標準服を購入できるが、すでに七中の制服をもっている人は、その服装でいいことなどの説明がありました。

*同じように、3小学校についても23日、24日の両日において、4年生以上の各クラスで下記の内容で説明しています。

◆ 庄内よつば学園の標準服について

<基本的な考え方>

- ・ 制服ではなく、標準服として服装のあり方を考える。
- ・ 多様性に配慮した形で、子どもの選択の幅を広げる。
- ・ 庄内よつば学園としての基準となる標準服(上下)を創る。
- ・ ステージ制を意識した着用指導をすすめる。

<具体的な着用イメージ>

- ・ 標準服は、ブレザー、スラックス(スカートも選択可)とする。
(標準服 = よつばオリジナル製品及び量販店等で購入する既製品)
中に着る服装は、カッター、ブラウス、ポロシャツを基本とし、色は指定しない。

第1ステージ(1~4年) = 自由服とする
第2ステージ(5~7年) = 自由服または標準服とする
第3ステージ(8, 9年) = 標準服を基本とする

- ・ 第2ステージから第3ステージにむけて、7年生は標準服の移行期間と考える。
- ・ 標準服等の運用については、児童会生徒会で検討していく。(学校での学習や活動をすすめる服装を自分たちで考える。)

よつばボタン



よつばフラワーホールマーク



よつばオリジナル標準服

*保護者の方につきましては、8月に予定しています「保護者説明会」にて、詳しく説明させていただきます。